

官大聴衆に
第二回爭議異相
大演

八重沢 争議 二ノ一

一、三、四、三、 第四号

第一回

批判大演説會

聴衆之百盛大甚極也

目録 時久戦中、争議因は争議。奥州生衣の。産稼也、献勵を奏する。少を呼云起し、境名経増。七並、意氣旺盛な等。蘇州は十四日夜、村下。金聖阿西老寺に於て第一回争議批判大演説會は、東京五斯王自由協會、東京一城、南等、各友大團體、中士七数名、觀現存名、應機差凡、彈機は聴衆怒狂し「八重沢仙松を葬れ」此等日講堂に在りたると争議國の幼年五部黨名。右三名は呼ばしる旅に之を、能く看極めた。相笑ひ實矣。圧血ヲ甚だしく出る衆士も出る衆士。事々獲れぬ、会々十年時會を裡に洩会した。

四月 第一回演説會は於て工
場附近に市民及工場
労働者大に参加す

之月 聴衆之百盛大甚極也
聴衆が熱氣旺盛な等

會會に於ては、
東京五斯王自由協會、
東京一城、南等、各友
大團體、中士七数名、
觀現存名、應機差凡、
彈機は聴衆怒狂し「八
重沢仙松を葬れ」此等



要
求
うちては手打ゆふなる存

三画代言加藤を解徴！
玉王八重沢仙松、責任を問へ！
嫌ひの手當は付懸ゆ也！

八重沢達自身も自治管理するを！

三河島、
工場主と豫北家
主との争議に引たり
二百成言加藤に一切
共して之を否定し、遂
時有て河野新時？豫北家

之月
争議の引たり
二百成言加藤に一切

批判大演説會

大徹底の二糾弾！
第七回英國直下に討策を協賛
重沢仙松を徹底的に糾弾す
一隊して大演説會を用
に上決意した。

東京五斯王自由協會、
東京一城、南等、各友
大團體、中士七数名、
觀現存名、應機差凡、
彈機は聴衆怒狂し「八
重沢仙松を葬れ」此等

四月十二日
於西光寺
場外では三光が旗不
来、観衆が、戒厳、演説會
來、觀衆が、戒厳、演説會

工場の
工場取付
場外に於て
演説會に於ける
大演説會

一
か
か
大演説會

丸子玉川、

争議團體是
去る春日、龍崎、期に下市、重
之は家族に慰筆を送るは
玉川、出た、
春日は下履襪、足煩、不
引、此見答、中乞、若、若、服
に、上、此、卷、子、其、果、然、不
左、不、當、傷、歌、主、高、唱、玉、川
之、系、込、大、に、氣、勢、揚、中、場、力
夕、刺、情、途、に、在、
所、不、情、に、仙、松、を、葬、命、重、沢、英、次
期、即、座、前、不、力、之、聲、揚、不
當、傷、深、く、高、唱、左、不、觀、衆、
は、情、に、在、
女、共、に、在、て、為、た

大演説會
演説會

大演説會
演説會

大演説會
演説會

大演説會
演説會

大演説會
演説會

大演説會
演説會
大徹底の二糾弾！